

市町村名	宜野湾市							
令和5年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	嘉数高台公園施設整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－（2）－ウ			
担当部署名	建設部 施設管理課		事業実施（予定）年度		平成30～令和5年度	多彩かつ質の高い観光の促進		
				沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（1）			
事業内容	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性を図るため、公園施設を含めた再編整備工事を行い、市民や観光客のさらなる誘客を図る。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度（令和6年度）							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R3年度	R3年度（繰越）	R4年度	R5年度	R5年度（繰越）	
	予算の状況	(a) 当初予算額	190,688		41,906	64,405		
		(b) 予算現額	190,688		41,906	64,196		
		(c) 増減額（b-a）	0	0	0	▲ 209	0	
		(d) 繰越額		126,447			31,284	
	A. 計（b+d）		190,688	126,447	41,906	64,196	31,284	
	B. 執行済額		64,241	125,233	42,449	32,912	31,284	
	うち交付金充当額		51,393	79,005	33,524	26,329	25,027	
	次年度繰越額		126,447			31,284		
	執行率（％）（B/A）		33.7%	99.0%	101.3%	51.3%	100.0%	
予算の状況の説明		当初予定していなかったアスベスト調査が必要となったため、現地調査及び設計の見直しに不測の日数を要したため、工事費にかかる31,284千円をR5年度へ繰り越し実施した。						
活動目標（指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	再編整備工事（4期）（落下防止手摺等、展望台機能拡張）の実施	目 標	嘉数高台公園施設整備工事（第1期）の実施	再編整備工事（2期）、（植栽）、（広場側トイレ・東屋）の実施	再編整備工事（3期）、（東屋）の実施	再編整備工事（4期）（落下防止手摺等、展望台機能拡張）の完了		
		実 績	嘉数高台公園施設整備工事（第1期）の完了	再編整備工事（2期）、（植栽）、（広場側トイレ・東屋）の完了	再編整備工事（3期）、（東屋）の完了	再編整備工事（4期）（落下防止手摺等、展望台機能拡張）の完了		
		目 標						
		実 績						
達成状況説明	嘉数高台公園再編整備工事（4期）（落下防止手摺等）を完了した。							
成果目標（指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）			基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R6年度）
	再編整備工事（4期）（落下防止手摺等、展望台機能拡張）の完了	目 標	（ ）	（ ）	再編整備工事（2期）、（植栽）、（広場側トイレ・東屋）の完了	再編整備工事（3期）（東屋）の完了	再編整備工事（4期）（落下防止手摺等、展望台機能拡張）の完了	（ ）
		実 績			再編整備工事（2期）、（植栽）、（広場側トイレ・東屋）の完了	再編整備工事（3期）（東屋）の完了	再編整備工事（4期）（落下防止手摺等、展望台機能拡張）の完了	
	戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたか（80%以上）を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ 80%以上 ）
		実 績						93%
	進捗状況説明	・再編整備工事（展望台機能拡張）が令和6年度9月で完了し、同月より供用が開始されている。 ・事業による利便性の向上が図られたかのアンケート調査目標値80%以上に対して、93%の方が肯定的に評価している結果が得られた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・工事の進捗や完成を市の広報やSNS等で周知したこと、駐車場スペースを増やしたこと等で、近隣外からの利用者也増加したと考える。 ・県内への修学旅行や観光客の利用者也増加傾向にあるため、公園の案内板や、展望台に展示パネルを増やし、利便性や平和学習の一助となったと考える。 ・市商工会の主催による桜の植樹祭が開かれ、キッチンカーなども並び、多くの家族連れでにぎわった様子が新聞で取り上げられた。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 住宅街の中にある公園で、大型バスは100mほど離れた場所で一時止めている状況であるため、団体の受入れ方法の検討が必要と考える。イベントの開催や植栽の維持管理に努め、更なる来場者数の増につなげる。
	今後の取り組み方針 戦跡を活用した観光地として、団体利用者也想定し、利用者がさらに増加するよう、関係機関や地域住民と連携を図る。	

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
64,196	64,196	51,356	12,840	0

宜野湾市
64,196千円

委託費
5,357千円

(株)アーキ5D
3,608千円

(株)沖縄縄環境分析センター
176千円

(株)アーキ5D
1,573千円

工事費
58,839千円

(株)玉城工業
12,430千円

(株)島仲建設
46,409千円

[嘉数高台公園展望台機能拡張実施設計業務委託]

[嘉数高台公園展望台アスベスト調査業務委託]

[嘉数高台公園展望台機能拡張改修工事監理業務委託]

[嘉数高台公園再編整備工事(4期)]

[嘉数高台公園展望台機能拡張改修工事]

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。(アスベスト調査、工事監理は随意契約)
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は実績と見積から積算し、適正な規模と認識している。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、精算段階で検査・検収を実施しており、事業目的に即して適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
令和5年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨	はごろも学習センター施設機能強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－（2）－イ		
担当部署名	指導部はごろも学習センター	事業実施 （予定）年度	令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	豊かな心と健やかな体を育む 学校教育の推進		
事業内容	教育相談等を利用する児童生徒・保護者が安心して通所できるよう、現在の間取りを変更し、防音や転落防止対策等を実施し、施設の機能強化を図る。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（令和6年度）						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）	予算 の 状 況		R5年度	R5年度（繰越）			
		(a) 当初予算額	151, 717				
		(b) 予算現額	108, 140				
		(c) 増減額（b-a）	▲ 43, 577	0			
		(d) 繰越額	0	53, 730			
		A. 計（b+d）	108, 140	53, 730			
		B. 執行済額	54, 409	53, 730			
		うち交付金充当額	43, 527	42, 984			
		次年度繰越額	53, 730				
	執行率（％）（B/A）	50.3%	100.0%				
予算の状況の説明	入札結果等により不用額を3月補正で減額した。 また、外壁塗装工事において、足場設置後の詳細調査の際に既存外壁モルタルの浮きが確認されたため、施工方法の変更における協議及び現場施工に不測の時間を要したことから、53,730千円を令和6年度に繰越し、予算通りに執行した。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
	施設整備工事の実施		R5年度				
		目 標	施設整備工事の実施				
		実 績	監理業務、建築工事、機械工事、電気工事の完了				
		目 標					
	実 績						
達成状況説明	令和4年度に実施設計（市単独費）を完了し、令和5年度に監理業務委託、建築工事、電気設備工事、機械設備工事を完了した。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R5年度			目標値 （R6年度）
	工事の完了	目 標	（ ）	（ 工事の完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		完了			
	【後年度（R6）成果目標】 教育相談を実施する施設として「安心して利用できた」（80%以上）	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（80%以上 ）
		実 績					97.9%
	進捗状況説明	・令和6年4月で工事が完了し、教育相談利用者等の利用を再開した。 ・施設利用者へアンケートを実施し、大多数の利用者から教育相談を実施する施設として「安心して利用できた」との回答を得ることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・施設の機能強化によって、教育相談の機会が一定程度担保されたことから、今後この施設の活用に向け、より一層児童生徒および保護者の支援体制の強化に力を入れる必要がある。	・支援が必要な対象者へ適切なサポート体制が提供できるよう、ソフト面(臨床心理士や教育相談支援員、SSW等)の支援体制構築についても併せて取り組む。
今後の取り組み方針		
関係機関等との連携を強化し、市内小中学校への当施設の取り組みの周知を図るとともに、支援体制の充実に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		108,139	108,139	86,511	21,628	0

宜野湾市
(108,139千円)

委託料
(2,556千円)

工事請負費
(105,583千円)

(有)CaSa plus、(有)エスジーエンジニアリング共同企業体
(2,556千円)

有限会社インケン
(76,360千円)

デルタ電気工業㈱・㈱橋電設共同企業体
(11,188千円)

株式会社南星エネルギー
(18,035千円)

赤道老人福祉センター・はごろも学習センター改修工事監理業務委託

赤道老人福祉センター・はごろも学習センター改修工事(建築)

赤道老人福祉センター・はごろも学習センター改修工事(電気設備)

赤道老人福祉センター・はごろも学習センター改修工事(機械設備)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市					
令和5年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	4-⑤	図書館遠隔地サービス事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－（1）－ア
担当部署名	教育部 市民図書館		事業実施 （予定）年度	令和5～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域を知り、学びを深める環境 づくり Ⅲ－3－（2）
事業内容	図書館利用の難しい市民の生涯学習環境の向上を図るため、移動図書館車両を導入し、公立図書館へのアクセスが厳しい地域等を定期的に巡回する。					
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（令和15年度）					
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）					
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R5年度	R5年度（繰越）		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	22550	0		
		(b) 予算現額	18480	0		
		(c) 増減額（b-a）	▲ 4,070	0		
		(d) 繰越額		18,480		
	A. 計（b+d）		18,480	18,480		
	B. 執行済額			18,480		
	うち交付金充当額			14,784		
	次年度繰越額			0		
	執行率（％）（B/A）		0.0%	100.0%		
予算の状況の説明		・備品購入費の入札残があったため、4,070千円を減額補正し、繰越後は予算どおり全額執行した。				
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況			
			R5年度			
	移動図書館車両の購入	目 標	車両購入			
		実 績	車両購入			
		目 標				
		実 績				
達成状況説明	令和5年度に、入札・発注業務完了。令和5年度中に納品予定だったが、年度内の納品が困難となり繰り越しとなった。 令和6年5月15日納品完了、令和6年6月7日運用開始。					
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （年度）	R5年度		目標値 （R15年度）
	移動図書館車両の購入	目 標	（ ）	移動図書館車両の購入		（ ）
		実 績		移動図書館車両の購入		
	【令和6年度から令和14年度（延べ）】 ・巡回回数 ・利用者数 ・貸出冊数	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績				
	進捗状況説明	令和6年5月で移動図書館車両を購入し、目標達成となった。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・移動図書館車両は、経年劣化(平成14年1月に導入)により運航に支障をきたす事象が度々発生していたことから、車両購入に着手した。 ・コロナ禍の影響で部品調達が困難となり、年度内納品が間に合わず、令和6年度へ繰り越しとなった。	車両購入し、移動図書館サービスに支障をきたす事象が解消されたことから、利用者の利便性等サービス向上を検証していく。
今後の取り組み方針		
移動図書館車両を購入したことにより、図書館利用困難地域のみならず、市内全域で図書館サービスを安定的に提供することが可能となったため、情報発信の強化により広報活動等を行い、更なる利用者数の増に繋げる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18,480</td><td>18,480</td><td>14,784</td><td>3,696</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 宜野湾市 18,480千円 備品購入費 18,480千円 沖縄ふそう自動車 株式会社 18,480千円 移動図書館車両購入費					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	18,480	18,480	14,784	3,696	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
18,480	18,480	14,784	3,696	0										
資金の用途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○車両納入業者は、指名競争入札を経て選定されており、適正・妥当であると考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	宜野湾市						
令和5年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8	市民会館機能強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-イ		
担当部署名	教育部 生涯学習課	事業実施 （予定）年度	平成30～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり		
事業内容	Ⅲ-3-(3)						
効果発現年度	□当年度 ■後年度（令和7年度）						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度（繰越）
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	231, 829	386, 162	16, 194	372, 862	
		(b) 予算現額	224, 996	364, 443	14, 850	350, 678	
		(c) 増減額（b-a）	▲ 6, 833	▲ 21, 719	▲ 1, 344	▲ 22, 184	0
		(d) 繰越額					115, 128
	A. 計（b+d）		224, 996	364, 443	14, 850	350, 678	115, 128
	B. 執行済額		224, 996	364, 443	14, 850	235, 549	115, 128
	うち交付金充当額		179, 996	263, 007	11, 880	188, 439	92, 102
	次年度繰越額					115, 128	
	執行率（％）（B/A）		100.0%	100.0%	100.0%	67.2%	100.0%
予算の状況の説明		入札残が生じたことから、委託料74千円及び工事請負費22,184千円を減額した。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	施設工事監理委託	目 標	完了	完了	完了	完了	
		実 績	完了	完了	完了	完了	
	施設工事（機械設備・電気設備）	目 標	完了	完了	完了	完了	
		実 績	完了	完了	完了	完了	
達成状況説明	令和5年6月に工事受託者を選定し、工事着手に向けた様々な手続きを進め、7月より工事着手致しましたが、周辺大型工事が重なり、作業員確保が難しく、当初工程より約3ヶ月遅れが出たため、繰越手続きを行った。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （R7年度）
	【改修工事R5年度分完了】 改修工事監理業務委託 改修工事（機械設備・電気設備）	目 標	（ ）	（ 完了 ）	（ 完了 ）	（ 完了 ）	（ ）
		実 績		完了	完了	完了	
	【R7成果目標】 年間利用者数：24,619人 年間公演回数：34回	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	24,619 人 34回
		実 績					
進捗状況説明	令和5年6月に工事受託者を選定し、工事着手に向けた様々な手続きを進め、7月より工事着手致しましたが、周辺大型工事が重なり、作業員確保が難しく、当初工程より約3ヶ月遅れが出たため、繰越手続きを行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	工事範囲のすぐ近くに職員がいることによる施行者側への安全管理で苦慮した。 また、周辺大型工事により作業員確保が難しく、調整に時間がかかった。	協力会社との連携並びに工事工程の見直しをすることにより、工期短縮に向けた調整を行い、令和6年度の工事内容に影響が生じないように努めた。
今後の取り組み方針		
今後30年間長期的安定的な施設の運用ができるよう平成27年に策定した保全計画に基づき整備を行っているが、整備後は文化の拠点としてこれまで以上に利用しやすい施設として認識してもらえるよう周知を図る。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
351,633	350,677	280,541	70,136	955

```

            graph LR
                A[市民会館機能強化事業  
350,677千円] --> B[委託料  
3,388千円]
                A --> C[工事請負費  
347,289千円]
                B --> D[アスタ設計  
3,388千円]
                C --> E["ヤンマー沖縄(株)・(株)沖縄宮設備  
共同企業体  
292,430千円"]
                C --> F["(株)日本電設・(有)創電通 共同  
企業体  
54,859千円"]
                G[仮設電源分(交付対象外経費)  
955千円]
                D --- H["( 宜野湾市民会館施設  
改修工事管理業務委託 )"]
                E --- I["( 宜野湾市民会館施設改修工事  
(機械設備) )"]
                F --- J["( 宜野湾市民会館施設改修工事  
(電気設備) )"]
                G --- K["( 仮設電源分(交付対象外経費)  
955千円 )"]
            
```

	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入力で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	